

愛&ノハート

■愛の家

- ネクストステージへ
- 子どもの権利について
- 第63回 愛の家運動会
- ご意見をお聞かせください

■あいハート須磨

- 敬老会に携わって
- あいハート須磨へ入職して

■あいハート離宮前

- 中の人

■第3回法人内事例発表会の開催報告

■NTT労働組合の皆様による
ボランティア活動のご紹介

■NTT労組 関西エリア分会キャラバン

■介護付有料老人ホーム
あいハート離宮前のご紹介

2024 November

273号

あいハート須磨
デイサービスの
利用者の皆様



愛の家

ネクストステージへ

◆施設長 上野 隆幸

平素は事業団並びに愛の家の運営に多大なご支援・ご協力を賜り誠に感謝しております。

10月にはNTT労働組合大阪グループ連絡協議会ならびに同和歌山県グループ連絡協議会の皆様に「草刈りボランティア」、その翌週には「愛の家運動会」にご参集いただきありがとうございました。おかげさまで施設は綺麗に環境整備されました。また、運動会でもお手伝いいただき利用者さんもお手伝いいただき利用とができました。重ね重ねお礼申し上げます。

さて、愛の家では念願であった作業棟の建設に向けこれまで職員全員で進めてきました。初めての大型プロジェクトに右往左往しながらも、入札準備が完了しました。この「愛&ハート11月号」が皆様のお手元に届くころには、建設会社も決定し、着工の準備に取り掛かっていることと思います。



の家は大きく様変わりすることになります。

来年は一年を通して工事期間となるためボランティアのお願いも少なくなるとは思いますが、建設工事が完了した際には是非ともお越しの上、新しくなった愛の家をご覧いただきながら利用者さんと楽しい時間を過ごしていただきたいと思います。

2024年年度のご挨拶にも述べさせていただきましたが、この計画は中期3か年計画の締めくくりとなり、愛の家が新たなステージに向かう第一歩となります。ハード面（建物）の刷新と共にソフト面（支援）の充実も課題となります。今後、全産業で人手不足となり深刻な人材不足も予想されますので、人材の定着と育成が大きな鍵となります。愛の家で働くことの楽しさや喜びを味わってもらえるような施設運営や環境整備に取り組み、「誰もが一緒に楽しく過ごせる愛の家」であるよう職員一丸となって取り組んでまいりますので、今後とも更なるご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

子どもの権利について

◆きぼうスタッフ 佐藤 皓基

10月に子どもたちと子どもの権利ノート、通称「にこにこノート」についてお話ししました。

まず最初に「にこにこノート」とはどういったもので、どのような時に使うのかを共有しました。次に、「子どもの意見表明等支援委員会（以下、委員会）」が新しく作成したリーフレットを配布し、これまで以上に施設等で生活している子どもたちの気持ちや意見を尊重し、子どもたちのこと（権利）を大切にしていくなために委員会が作られたことをお伝えしました。



リーフレットには、「あなたの意見はとても大切で、あなたが考えていること、感じていることを周りの人に伝えることはとても大事である」ということ、そして「話しやすい周りの大人にそれを伝えてほしい」ということなどが書かれていることを説明しました。

第63回 愛の家運動会

◆かがやきスタッフ 米澤 貴子

意見が全部その通りに叶えられるとは限りませんが、「あなたの意見を大切にしながら一緒に考えていきたいと思っている」ということや、「誰かに相談してもあなたの思いを聞いてもらえないと感じて困りごとが続いているときは、委員会にあなたの意見を伝えることができる」ということを知ってもらいました。子どもたちと一緒に読み上げながら、施設での生活で困っていることや、将来についての考えや疑問に思っていること等がある時は、どんどん施設の職員や子ども家庭センターのケースワーカー、身近にいる話しやすい大人に話をしてほしいと伝えました。そして施設に置いてある意見箱や子どもの権利ノートに書かれている連絡先を活用することも意見を伝える方法のひとつであると説明しました。

少し難しいお話と感じた子どももいましたが、自分の思いを伝える大切さを知ってもらえる良い機会となりました。これからも継続して自分たちの権利について学んでもらえる機会を設け、子どもたちが笑顔で過ごしていけるよう支援していきます。

10月12日(土)、気持ちの良い秋晴れの日に愛の家運動会を開催しました！

利用者さんは数日前からとても楽しみにしてソワソワしていたようです。当日も早くから玄関前でスタンバイしている方もいました。開会式の後、まずラジオ体操で身体をほぐしてスタートです。

今年は新プログラム「そーっと引いて」という競技を行いました。二人一組でゴザに乗せたぬいぐるみを名前の通り「そーっと」引いて走る競技です。これがなかなか難しいようで、ぬいぐるみを落としてしまう方が多かったですが、何度もゴザに戻しながら皆最後まで一生懸命頑張っていました。ゴールすると楽しみにしていたお菓子をもらって、観覧席に戻って笑顔いっぱい食べていました。

次の競技は恒例の「大玉転がし」です。丁寧にゆっくり転がす方、とにかくスピード重視で突っ走る方とさまざまでしたが、ペアの方とスピードを合わせて上手にゴールし



てくれていました。身体より大きな玉を一生懸命転がしている姿はとてもカッコ良かったです。

最後は、運動会と言えばこの競技、「玉入れ」です！みんな疲れも忘れて何度も玉を拾って投げてくださいました！「おいしい！」「もうちょっとー」と応援する側も力が入りました。終了の合図が鳴ってもすぐにストップできないほど集中していたようです。楽しい時間はあっという間に終わり、無事怪我なく終了することができました。

同時に開催したアート展にもたくさん作品を展示しました。今回のアート展のテーマは「夢をあつめ



て虹をかけよう」で、皆の夢が詰まった作品がたくさん展示され、見ていると応援したくなるような気持ちになりました。午後には保護者会からいただいたケーキを食べました。「疲れている時のケーキは格別！」とペロツと完食してくれました。

翌日「運動会頑張ったー」と嬉しそうに伝えてくれる方がいました。楽しい思い出がまた増えたようです。皆様ありがとうございました。

「ご意見をお聞かせください」

◆工房みさきリーダー 城間 陽子

児童部を卒業し工房みさきを利用しているーさんから「服部さん！きぼつでやっていた子ども会議、工房でもやって欲しい!!」と声があり、服部(元児童部リーダー)が主となり、初めて工房みさきで利用者による利用者のための会議(仮)を開催しました。職員はいくつかテーマを用意したり、進行(司会・記録(書

記」を担う利用者のサポートをした
りしましたが、基本的には利用者の
みで全て行ってもらいました。

司会者の問いかけに職員を見て
返答をする利用者や、意見を受けて
職員に目配せしたりする司会者…
普段、私たち職員との関わりが主と
なっているせいか、初めは「自分た
ちだけでは話し合いができない」と
いう事態が表出しました。しかし、
徐々に職員の存在を気にせず、自分
たちだけで向き合う時間が増えて
いき、司会者Mさんの「困っている
ことはありませんか？」の問いにK
さんが「作業配置」ボードを見て、

この作業は嫌、この作業が良い、と
言うのはあかんと思う」と発言、そ
れに対して司会者が「みんな一緒
にがんばりましょう！」と応える
など、会議は熱気に包まれていま
した。

対話の場を持つことで、①自分の
気持ちを言葉にする、②他者の話を
聞く、③同じ考えをもつ他者の話し
を聞き「共感性」が育つ、④「自分と
は違う考えがある」と気づき「多様
性」が育つ、⑤「何でも話しても良
い」「何を話しても受け入れてもら
える」という安心感が自己肯定感に
つながる、ということが期待されて
います。

多くの言葉を交わしても互いの
呼吸が合わなければ「独話」に留ま
ります。「対話」は自分の言いたいこ
とを話すのではなく、相手の『おも
い』を受け止めることによって始ま
ります。「独話」は対話の反対語で
す。職員は利用者を前に独話となっ
ていないか？対話は「コミュニケーション」
の手段のひとつであり、大
勢の前で発言できない方、言語コミ
ュニケーションが難しい方の『おも
い』をどう表現していくか？という
ことの大切さに気づき、これからの

課題を認識することが出来ました。
皆様の声を聞くことはサービ
スの改善も含め、職員一同学びの場と
しても役立たせていただきます。

あいハート須磨

敬老会に携わって

◆特養介護スタッフ 重村 季子

特養では、9月16日(月)の敬老の
日に「敬老会」を行いました。今年は
「百寿」などの節目を迎えられた13
人の方をお祝いさせていただきました
した。私にとって敬老会の準備は初
めてだったので、昨年担当されたス
タッフや上司に教えていただきな
がら進めました。

敬老会当日、ご入居者が数か月か
けて制作した「ひまわりのちぎり
絵」を背景に、「感謝状」の授与を行
いました。授与されるのを待ってい
る間、ご入居者の皆様は笑顔を見せ
られ、百寿を迎えられる方は歌と踊
りをご披露してください、とても和
やかな時間が流れました。授与式が
始まり、施設長からお一人、お一人
「感謝状」が贈られ、皆さん笑顔で受
け取られました。



ところが、最後の授与となった
「百寿」のご入居者が、両手を前に
突き出され「私はそんな歳ではあ
りません」と言わんばかりに受け
取りを辞退され、笑いが巻き起こ
りました。施設長が何度も声をか
けるとようやく受け取っていただ
くことができました。「百寿」とは
思えない程本当にお元気な方で、
来年の「百寿」もお祝いできるよう
ケアに努めさせていただこうと改
めて思いました。

お祝いの品は現在使用している
色鉛筆が揃っていなかったもので、
120色の色鉛筆をお贈りしまし
た。色鉛筆は事務のスタッフに注文

してもらい準備しました。色鉛筆の色彩の美しさと本数の多さに、皆様「きれいな」と喜んでいただくことが出来ました。

最近は壁紙の制作に力を入れており、ご入居者にも色がたくさんある色鉛筆を見て、創作意欲を掻き立てられた方もおられるようです。色を塗った後に水をふくんだ筆でなぞると水彩画も描ける色鉛筆なので、新たな壁紙製作を楽しみにされておられました。

あいハート須磨へ入職して

◆調理師 方山 由紀子

調理師の方山由紀子と申します。今年2月にあいハート須磨の調理師として入職しました。前職は給食委託会社に所属し、現場主任として病院・福祉施設などで大量調理をしておりました。その経験を活かし、直営の厨房で大きな責任を担いながらチャレンジすることを求め、あいハート須磨への転職を決意しました。

あいハート須磨では、普段通りの料理のローテーションだけではなく、行事食、誕生日のお祝いメニ

ュー、季節を感じる料理やデザートを取り入れ、毎日の食事を楽しく、美味しく食べていただけるよう考えています。ご利用者と直接お会いすることは少ない裏方の仕事ですが、「美味しかった」「ありがと」など、直接声をかけてもらえることもあります。自分たちで作った食事に感謝してもらえた時は、調理師の仕事に喜びを感じます。

在宅で暮らす独居の高齢者は年々増加しています。孤食（一人で



▲郷土料理 (徳島県)



▲寿司



▲七夕



▲できたて食堂

食事を摂ることは健康意識が低下しやすくなります。スマートフォンをお持ちの方はインスタグラムやX(旧ツイッター)、ご家族やご友人のSNS等にご自分の食事内容をアップしてみるのがオススメです。

そうすることで食事選びに張り合いが出たり、共感してもらったりするため、孤食によるマイナスの影響を軽減することができます。楽しみを感じながら自分にできることに挑戦し、健康的な食生活を送っていただけたらと思います。

あいハート離宮前

中の人

◆事務スタッフ 佐野 京子

あいハート離宮前は2022年にインスタグラムを開設しました。私が担当に任命されたものの、全くの素人でしたので苦労の連続でした。

今現在、投稿数315、フォロワー数は525です。週1回程度のペースで様々な季節行事やアクティビティー、食事委員会考案の「選べるランチメニュー」や行事食の投稿

のほか、ご入居者のトランプ遊びなどの何気ない日常の「コマも切り取り投稿しています」。

写真の選別時に改めて思うことがあります。各職員が日々頑張っているからこそ、投稿できる材料に困らないのだということです。そんな頑張りに背中を押され、なるべく映えるようにと奮闘しながら投稿する毎日です。

Google AIによれば企業の広報SNSの運用担当者、いわゆる「中の人」に向いている人は、「情熱を持ってコンテンツを作成し、…自分の仕事に対する責任感を持ち、フォロワーや企業の期待に応えることができる人材」だそうです。「中の人」に限らずどの仕事にも当てはまるような気もしますが、情熱、責任感はあるほうでしょうか。

気掛かりなのはフォロワーや企業の期待に応えられているかどうかです。ご家族様からご感想をいただいたり、職員からも「見たよ」と声をかけてもらったり、入居希望のお問い合わせや職員募集の採用面接の際にも、「見ました」という声が上がってくるようになりました。皆様に届いているという実感が湧き嬉

しい反面、今後も期待に応えていけるのかという怖さも感じます。

ご家族様へはホームでのご様子の情報提供、職員にとっては日々の励み、外部からはホームの良さをアピールするツールとして利用価値の高いものになるよう一層努力し、結果「中の人」として適職だと評価されるよう精進して行きたいと思っています。

「中の人」は顔出しNGですので、インスタの画像をいくつか掲載させていただきます。



第3回法人内事例発表会の開催報告

10月20日(日)、コミュニティプラザ大阪3階にて「第3回法人内事例発表会」を開催いたしました。

今年度は、愛の家から3チーム「きぼう・かがやき・工房みさき」、あいハート須磨から4チーム「特養・デイサービス・居宅介護支援事業所・あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）」、あいハート離宮前から1チームの計8チームが、業務改善やサービス向上に向けた取



り組みの優良事例を発表しました。

今回で3回目の発表会ということもあり、内容が充実し、プレゼンスキルも年々レベルアップしていると実感することができました。

最優秀賞は、対象児童が円滑な対人関係を築けるように行動特性に応じた個別ケアを実践し、改善が見られた事例を発表した、愛の家きぼう部門でした。きぼう部門は昨年度に続いて見事連覇を達成！入賞した部門には表彰状と報奨金が贈呈されました。

職員にとって他部門の取り組みを知る良い機会になりました。発表を通して得た気づきや刺激を業務に取り入れ、更なる業務改善やサービスの向上に繋がっていききたいと思います。

全チームの発表終了後、表彰式を行いました。受賞部門は以下の通りです。

第1位 最優秀賞

愛の家きぼう部門

第2位 優秀賞

あいハート離宮前部門

第3位 努力賞

あいハート須磨
居宅介護支援事業所部門

NTT労働組合の 皆様による ボランティア活動のご紹介

その1

10月5日(土)、愛の家と工房みさきで草刈りを実施しました。広い敷地の整備には多くの人手が欠かせないですが、今年もNTT労働組合の皆様(総勢60名以上)にご助力をいただくことができました。

2時間の作業で敷地内はすっかりキレイになりました。終了後に昼食として名物、愛の家カレーをご用意したところ、皆様から「美味しい!」とお言葉をいただくことができました。

昼食後、西日本本社総支部の皆様(7名)が愛の家と工房みさきを見学されました。施設内を巡回しながら、職員による事業団の沿革、事業概要、取



り巻く課題等の説明に対し、皆様とても熱心に耳を傾けていただきました。

その2

10月12日(土)愛の家で毎年恒例の運動会を開催しました。こちらにもNTT労働組合から11名のボランティアの皆様にお集まりいただきました。

当日は快晴で絶好の運動会日和となり、ボランティアの皆様が常に競技運営のサポートをしていただき、全プログラムを事故なく円滑に終えることができました。ご利用者様もより、ボランティアの皆様も笑顔で過ごしていただけたことがとても印象的でした。

お忙しい中、沢山の方にボランティア活動にご参加いただけたこと、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



NTT労組 関西エリア分会 キャラバン

■ 法人本部 事務局長
根本 浩司

9月から10月にかけてNTT労働組合関西総支部が実施するキャラバンに参加し、関西エリアにある7つの分会を回らせていただきました。キャラバンの内容として当法人の歴史と現状に関する議題を加えていただき、各分会の役員や構成メンバーの皆様に対して、当法人の沿革、事業概要、収支状況、後援会による寄付金の推移と使途、取り巻く課題などをご説明しました。

NTT労組の皆様による後援会活動を通じていただいた寄付金は、社会福祉事業の継続に欠かせない設備・機器の修繕や導入のために有効に活用させていただいております。引き続き、変わらぬご支援の程よろしくお願い申し上げます。



ご支援をくださった方々

《9月》

寄付金

NTT労働組合
退職者の会大阪支部協議会 様
(愛のキャン)

(計1件)

《10月》

寄付金

NTT労働組合退職者の会
兵庫県支部協議会 様
赤本 忠司 様
小野クリニック 様
梶本 幸治 様

谷 鑛兒 様
目出 千枝 様

※お名前掲載不可 1件

マッチングギフト

NTT西日本グループ 様
(計8件)

介護付有料老人ホーム あいハート離宮前のご紹介

介護付有料老人ホームあいハート離宮前は、南には須磨海岸、北側には須磨離宮公園と海と山に囲まれた閑静な住宅街の中に位置し、山陽電鉄月見山駅から約300メートルという大変便利な立地にございます。

居室は全室個室で、最も重度な要介護状態の方や寝たきりの方、認知症の方にもご利用いただけるケア体制と見守りシステム等の最新の設備をご用意しております。

職員体制は24時間完全介護で日中には看護師が常勤しております。また、内科と外科の嘱託医を配置する全国でも数少ない有料老人ホームであることに加え、歯科の往診体制の完備、協力病院や周辺クリニックへの送迎と付き添い、万一入院をされました際には身の回りのお世話をさせていただくサービス（一部有料）などがございます。

お食事は館内直営の厨房にて腕利きの調理師が手作りしましたものを、各階食堂のアイランドキッチンからご入居者様がお席に着かれてからご提供しますので、いつでも出来立ての味をお楽しみいただけます。

また、充実のアクティビティーやレクリエーションの様子は、ホームページ内の「あいハート離宮前通信」やインスタグラムに都度アップしておりますので、是非ご覧いただきますようご案内申し上げます。

有料老人ホームの選び方のご相談なども受け賜っておりますので、どうぞお気軽にお問合せください。



ご見学・ご予約
受付中!



2022年には週刊ダイヤモンドの「有料老人ホーム・ランキング」特集の、エリア別ベスト1000施設におきまして第4位の評価を頂戴しました。



ホームページQR



Instagram

「皆様の声」受付窓口

全電通近畿社会福祉事業団では、社会福祉法第82条の規定に基づき、利用者家族の皆様等から「苦情」やご意見に適切にお応えするための体制をとっています。面接・電話・書面等のようなかたちでも結構ですので、遠慮なく、お気軽にお申し出ください。

- 愛の家 072-494-0123
- あいハート須磨 078-737-2525
- あいハート離宮前 078-731-2130
- 法人本部 06-6458-5723

【発行】

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団
〒553-0003 大阪市福島区福島 3-1-73
TEL 06-6458-5723
Website <https://www.zendentu-kinki.jp>
Facebook <http://www.facebook.com/zendentukinki>
E-mail jigyodan@silver.ocn.ne.jp

【発行人】

理事長 橋本 寿樹

